

◇奥出雲仁多米株式会社

5年連続金賞受賞で高品質ブランド米の地位を確立
カタログ販売と業務販売が大きく伸び、純利益増。

売上高	6億953万2千円	前年比	105.8%	3,327万6千円増
純利益	1,560万4千円	前年比	424.6%	1,192万9千円増
集荷量	1,118t	前年比	91.5%	103t減

※町への寄付金4,488万8千円

◇社団法人奥出雲町農業公社

子牛市場の価格上昇により販売額増。
国営開発畑の受託事業で作業量増加により収入増。

売上高	7,531万9千円	前年比	110.5%	717万6千円増
純利益	869万4千円	前年比	899.7%	772万8千円増
繰越損益	△7,674万4千円	前年比	10.1%改善	869万4千円改善

◇株式会社仁多堆肥センター

更新整備した製造機械の稼働により、生産性の向上と
製造経費の削減を実現し、過去最高の販売数量。

売上高	3,608万1千円	前年比	108.7%	287万5千円増
純利益	10万4千円	前年比	398.1%	7万8千円増

※町への寄付金30万円

◇奥出雲町土地開発公社

事業収益8,848万4千円。当期純利益は346万3千円。

公有用地事業

三井野原下線等用地、馬木小学校用地、川西地区工場等
用地、横田伯南線家屋移転用地、宇根路園地用地

完成土地事業

高畦第2住宅団地造成事業

《主な質疑応答》

《奥出雲振興》

- Q 企業診断士を入れて営業の見直しを行うとのことだが。
A お客様が少ない時間帯は営業時間を絞り人件費を減らす。
- Q 玉峰山荘に導入したチップボイラーの経費的な効果は。
A 重油と比べ約25%の経費削減効果があった。

《道の駅おろちループ》

- Q 閉鎖しているロッジの現状は。
A 点検を終えいつでも再開できる状況だ。
- Q 改修される道の駅の設計図面は。
A 来年度の予定で、設計ができれば提示する。

《奥出雲仁多米》

- Q 印刷費が増えているが、町内企業に発注されているか。
A 米袋への特殊印刷が主なので、町外の専門業者へ発注している。
- Q 昨年末米価が下がったが、仕入れ価格は変わったか。
A 概算金と精算金を見込んだ価格でJAから購入している。

《奥出雲椎茸》

- Q 上阿井の森林組合のあとはどのように活用するか。
A 施設の修繕をし、評価の高い雲太1号の生産をする予定。
- Q 生産農家への補助金はいつまで続けるのか。財源は。
A 3年程度と考えている。一般財源で対応。
- Q 壊れたままの水耕栽培のハウスを修繕か撤去すべきだ。
A 700万円以上かかる。検討し早急に対応する。
- Q 販売促進費が他と比べ少ない。十分に販促できているか。
A 一概に比べられないが、販路拡大に努める。

《仁多堆肥センター》

- Q 生産性の向上と効率化が本当に図られているか。
A 製造機械の整備により電気代と人件費を削減できた。
- Q 未完熟堆肥の散布があるか。
A 2件の報告を受けた。品質向上に努める。
- Q ストックヤードの不足について、他の施設が使えないか。
A 経費的に近くに設置しなければならないが、検討する。

※訂正・・・議会だより27年4月号P10の一般質問の中で、要介護度1・2とありますが町長施政方針および実際の制度では、要支援1・2です。